



2024年5月9日

各 位

会 社 名 SMK株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光  
(コード番号 6798 東証プライム)  
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平  
(TEL. 03-3785-1111)

通期業績予想と実績値との差異、営業外収益（為替差益）  
及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

2024年1月30日に公表いたしました2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。併せて、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、営業外収益（為替差益）及び特別損失（減損損失）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値と実績の差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 45,900	百万円 △1,100	百万円 △200	百万円 △400	円 銭 △61.34
今回実績（B）	46,522	△1,243	226	△489	△75.00
増減額（B－A）	622	△143	426	△89	
増減率（％）	△1.4	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	54,842	1,128	2,503	1,334	209.12

2. 修正の理由

2024年3月期通期の連結業績につきましては、売上高は、2024年1月30日公表の前回予想を上回りましたが、営業利益は、家電市場及び車載市場における主要得意先の在庫調整に加えて、回収が見込まれない棚卸資産の評価損を計上したことにより前回予想を下回りました。経常利益は、為替相場の円安進行による為替差益の計上により前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、第4四半期に減損損失4億5千8百万円を計上したことにより前回予想を下回りました。

### 3. 営業外収益（為替差益）の計上

2024年3月期第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）において為替差益2億1千7百万円を計上しておりましたが、為替相場の円安進行により、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、8億7千1百万円の為替差益を計上しました。この結果、2024年3月期第4四半期連結累計期間（2023年4月1日～2024年3月31日）において、為替差益10億8千9百万円を営業外収益に計上しております。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価に伴い発生したものであります。

### 4. 特別損失（減損損失）の計上

2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、当社及び当社子会社である SMK Manufacturing, Inc.、SMK Electronica S.A. de C.V.、SMK Electronics (Phils.) Corporation が保有する固定資産（建物、機械装置等）について、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、減損損失4億5千8百万円を特別損失に計上しました。

以 上